

2009 年度研究プロジェクト

「天地人—三才の世界：宇宙・地球と人間の関わりの新しいリテラシーの創造」

Research Project : Creation of a new literacy in the relationship between Space, Earth and Human Society — Ten-chi-jin: the world of Sansai

実施期間 : 2009～2011 年度 (第 1 年次)

Term of the Project: 2009-2011 fiscal years (1<sup>st</sup> year)

研究代表者 : 尾池 和夫 国際高等研究所長

Project Leader: Dr. Kazuo OIKE, Director, IIAS

研究目的 :

人工衛星をはじめとする最近の宇宙・地球観測技術の発展は目覚しく、宇宙の構造や地球変動についての新しい情報が日々更新されつつある。これらの科学成果の最先端の情報は専門家以外には知る機会も少なく、また細分化・先鋭化されたこれらの情報を断片的に伝えられても専門外の人々にはそれが人間社会の活動とどのように関わってくるのか考えにくい。このプロジェクトでは、宇宙科学（天のグループ）及び地球科学（地のグループ）の専門家がそれぞれの分野の先端的研究を自然科学とは比較的縁遠い人間社会の各分野で活躍している非専門家（人のグループ）に分かりやすく説明し、理解を得るとともに、人間社会との関わりを考慮にいれた「天・地」の先端研究の在り方について議論を深めることにより、個々の情報（Information）を確固たる知識（Knowledge）に変え、「天地人—三才」の新しいリテラシーの創造を目指す。「三人よれば文殊の知慧」ではないが、「天・地・人」の異分野交流によって、社会的意義のある新たな価値の創造—イノベーションにつながると期待できる。

Objectives:

There have been remarkable recent developments in space and earth observation technologies, including artificial satellites, as well as new information on current global changes and the structure of the universe, which are being updated on a daily basis. These results from state-of-the-art scientific achievements are usually limited to small academic circles and not widely distributed to the public. Even if these up-to-date achievements were widely disseminated, there would be difficulties in correctly evaluating and interpreting the results. In this project, leading researchers in the fields of space and earth sciences will clearly and systematically explain recent research activities in their fields of expertise to other members from different backgrounds. With discussion on these topics, especially considering the effects on human society, we hope to convert specialized technical information into deterministic knowledge. This will create a new literacy involving human interactions with space and earth sciences. We expect that the multi-disciplinary composition of these efforts will produce innovation.

キーワード : 宇宙、地球、人間社会、天地人、

Key Word: Universe; Space, Earth, Human society, Ten-chi-jin

## 研究計画・方法：

年約3回の研究会を行い、3年間の研究期間とする。

各研究会においては、宇宙科学（天のグループ）及び地球科学（地のグループ）からそれぞれ1～2名が順番に話題提供者となり、各分野の最近の研究成果とそれに至る研究のプロセスを紹介する。話題提供者の講演を受けて、人のグループを中心として紹介された研究内容と人間社会との関わりについて議論を深める。そして、宇宙及び地球科学の研究の今日的到達点を理解するとともに、今後の研究のすすめ方についてその方向性を探る。天及び地のグループのメンバーはこの議論を通じて得られた研究のすすめ方についての提言をそれぞれの分野の今後の研究に活かす。なお、研究会の議論の内容は毎回記録に残し、次回の研究会のときに読み合わせを行い、さらに新たな論点が明らかになった場合には議論を継続する。なお、次年度以降は必要に応じて話題提供者を適宜追加する。

## 研究会開催予定：

第1回： 開催日未定（於 高等研）

第2回： 開催日未定（於 高等研）

第3回： 開催日未定（於 高等研）

## 参加研究者リスト：22名（◎研究代表者）

氏名 職名等

◎ 尾池 和夫 国際高等研究所長（地震学）

（天のグループ）

佐藤 文隆 甲南大学理工学部教授／京都大学名誉教授（宇宙物理学）

杉山 直 名古屋大学大学院理学研究科教授（宇宙論）

鈴木 洋一郎 東京大学数物連携宇宙研究機構副機構長（ニュートリノ天文学）

坪野 公夫 東京大学大学院理学系研究科教授（重力波）

福島 登志夫 国立天文台副台長（位置天文学）

（地のグループ）

今脇 資郎 海洋研究開発機構執行役（海洋物理学）

入船 徹男 愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター長（地球内部物性）

岡田 弘 北海道大学名誉教授（火山物理学）

竹本 修三 国際高等研究所フェロー／京都大学名誉教授（固体地球物理学・測地学）

鳥海 光弘 国際高等研究所企画委員／東京大学新領域創成科学研究科教授（複雑性科学）

本蔵 義守 東京工業大学理工学研究科教授（地球惑星内部電磁気学）

Mori James Jiro 京都大学防災研究所教授（地震発生機構）

（人のグループ）

浅利 美鈴 京都大学環境保全センター助教

伊藤 公雄 京都大学大学院文学研究科教授

大塚 陸毅 JR 東日本旅客鉄道株式会社会長

大牟田智佐子 毎日放送ラジオ局報道部副部長・記者

押田 茂實 日本大学医学部教授

尾関 章 朝日新聞大阪本社論説副主幹

金 文京 国際高等研究所企画委員／京都大学人文科学研究所教授

竹宮 恵子 京都精華大学マンガ学部長

冷泉 貴実子 冷泉家時雨亭文庫事務局長・常任理事

話題提供者リスト：

参加研究者のうち、天及び地のグループのメンバーが交代で話題提供をする。

研究成果報告書：

2012年7月出版予定

担当：尾池所長

国際高等研究所 研究プロジェクト  
「天地人—三才の世界：宇宙・地球と人間の関わりの新しいリテラシーの創造」  
2009年度第1回研究会 プログラム

開催日時：2009年 6月2日（火） 13：30～16：50  
6月3日（水） 9：30～15：00

開催場所：国際高等研究所 216号室（2F）

研究代表者：尾池 和夫 国際高等研究所長  
担当所長・副所長：尾池 和夫 所長

出席者：（20人）

研究代表者	尾池 和夫	国際高等研究所長
参加研究者 （19人）	浅利 美鈴	京都大学環境保全センター助教
	伊藤 公雄	京都大学大学院文学研究科社会学研究室教授
	今脇 資郎	海洋研究開発機構理事
	入船 徹男	愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センターセンター長・教授
**	岡田 弘	北海道大学名誉教授
	押田 茂實	日本大学医学部法医学教室教授
	金 文京	国際高等研究所企画委員／京都大学人文科学研究所教授
	佐藤 文隆	甲南大学特別客員教授
**	杉山 直	名古屋大学大学院理学研究科教授
	鈴木 洋一郎	東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設施設長・教授
	竹宮 恵子	京都精華大学マンガ学部学部長
**	竹本 修三	国際高等研究所フェロー／京都大学名誉教授
	坪野 公夫	東京大学大学院理学系研究科教授
	鳥海 光弘	国際高等研究所企画委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
	Mori James Jiro	京都大学防災研究所教授
	冷泉 貴実子	財団法人冷泉家時雨亭文庫常務理事・事務局長
	大塚 陸毅	東日本旅客鉄道株式会社取締役会長
	大牟田 智佐子	株式会社毎日放送ラジオ局番組センター副部長・記者
	尾関 章	株式会社朝日新聞社大阪本社論説副主幹

\*\*：スピーカー

プログラム

6月2日(火)

- 13:30 研究会〔216号室〕  
尾池所長の挨拶と趣旨説明
- 14:00 委員の自己紹介
- 15:00 休憩
- 15:20 講演(地球科学分野から(Ⅰ))  
話題提供者:竹本 修三 国際高等研究所フェロー/京都大学名誉教授  
演題「緯度・経度の決め方はどうなっているか?」  
ー日本測地系の変遷
- 16:20~16:50 質疑応答

終了後、けいはんなプラザへ移動

17:30~19:00 懇談会〔けいはんなプラザ内「ラ・セーヌ」 2F 〕

6月3日(水)

- 9:30 研究会〔216号室〕  
講演(宇宙科学分野から)  
話題提供者:杉山 直 名古屋大学大学院理学研究科教授  
演題「宇宙の始まりと終わり」
- 10:30 質疑応答
- 11:00 休憩
- 11:10 講演(地球科学分野から(Ⅱ))  
話題提供者:岡田 弘 北海道大学名誉教授  
演題「有珠火山研究の地球物理学的アプローチ」
- 12:10 質疑応答
- 12:40 昼食〔コミュニティホール〕
- 13:40~15:00 研究会〔216号室〕  
総合討論

国際高等研究所 研究プロジェクト  
「天地人—三才の世界：宇宙・地球と人間の関わりの新しいリテラシーの創造」  
2009年度第2回研究会 プログラム

開催日時：2009年 9月1日（火） 13：30～17：15  
9月2日（水） 10：00～12：00

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）

研究代表者：尾池 和夫 国際高等研究所長  
担当所長・副所長：尾池 和夫 所長

出席者：（17人）

研究代表者	尾池 和夫	国際高等研究所長
参加研究者 （16人）	浅利 美鈴	京都大学環境保全センター助教
	伊藤 公雄	京都大学大学院文学研究科社会学研究室教授
	今脇 資郎	海洋研究開発機構理事
	押田 茂實	日本大学医学部法医学教室教授
	佐藤 文隆	甲南大学特別客員教授
	杉山 直	名古屋大学大学院理学研究科教授
	鈴木 洋一郎	東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設施設長・教授
	竹本 修三	国際高等研究所フェロー／京都大学名誉教授
**	坪野 公夫	東京大学大学院理学系研究科教授
**	鳥海 光弘	国際高等研究所企画委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
**	福島 登志夫	自然科学研究機構 国立天文台 副台長・教授
	本蔵 義守	東京工業大学大学院理工学研究科教授
	Mori James Jiro	京都大学防災研究所教授
	冷泉 貴実子	財団法人冷泉家時雨亭文庫常務理事・事務局長
	大牟田 智佐子	株式会社毎日放送ラジオ局番組センター副部長・記者
	尾関 章	株式会社朝日新聞社大阪本社論説副主幹

\*\*：スピーカー

## プログラム

9月1日(火)

13:30 前回会合の補足とまとめ

14:00 話題提供者：鳥海 光弘 国際高等研究所企画委員  
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授  
演題「地球科学展望－地球内部を覗く」

15:00 質疑応答

15:30 休憩

15:45 話題提供者：福島 登志男  
自然科学研究機構国立天文台天文情報センター副台長・教授  
演題「地球の生命進化と宇宙環境」

16:45～17:15 質疑応答

9月2日(水)

10:00 話題提供者：坪野 公夫 東京大学大学院理学系研究科教授  
演題「重力波検証への挑戦」

11:00 質疑応答

11:30～12:00 総合討論及び次回の予定

## 配布資料

- ・ 尾池 和夫「世界ジオパークネットワークに参加を祝って」
- ・ 福島 登志夫「地球の生命進化と宇宙環境」
- ・ 第1回研究会集録(案)

国際高等研究所 研究プロジェクト  
「天地人—三才の世界：宇宙・地球と人間の関わりの新しいリテラシーの創造」  
2009年度第3回研究会 プログラム

開催日時：2009年 12月1日（火） 13：20～17：00  
12月2日（水） 10：00～12：00

開催場所：東京都美術館会議室  
110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

研究代表者：尾池 和夫 国際高等研究所長  
担当所長・副所長：尾池 和夫 所長

出席者：(19人)

研究代表者	尾池 和夫	国際高等研究所長
参加研究者	浅利 美鈴	京都大学環境保全センター助教
(18人)	伊藤 公雄	京都大学大学院文学研究科教授
**	今脇 資郎	海洋研究開発機構理事
	入船 徹男	愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センターセンター長・教授
	岡田 弘	北海道大学名誉教授
**	押田 茂實	日本大学医学部法医学教室教授
	金 文京	国際高等研究所企画委員／京都大学人文科学研究所教授
	佐藤 文隆	甲南大学特別客員教授
	竹宮 恵子	京都精華大学マンガ学部学部長
	竹本 修三	国際高等研究所フェロー／京都大学名誉教授
	坪野 公夫	東京大学大学院理学系研究科教授
	鳥海 光弘	国際高等研究所企画委員 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
	福島 登志夫	自然科学研究機構国立天文台副台長・教授
	本蔵 義守	東京工業大学大学院理工学研究科教授
	Mori James Jiro	京都大学防災研究所教授
**	冷泉 貴実子	財団法人冷泉家時雨亭文庫常務理事・事務局長
	大塚 陸毅	東日本旅客鉄道株式会社取締役会長
	尾関 章	株式会社朝日新聞社大阪本社論説副主幹

\*\*：スピーカー

プログラム

12月1日(火)

13:20 前回までのまとめ(尾池和夫・竹本修三)

13:50 話題提供者:今脇 資郎 海洋研究開発機構理事  
演題「海洋研究開発機構(JAMSTEC)の目指すもの」

14:50 質疑応答

15:20 休憩

15:30 話題提供者:押田 茂實 日本大学医学部法医学教室教授  
演題「科学の進歩と真相究明—DNA鑑定と裁判」

16:30~17:00 質疑応答

17:30~19:30 懇親会(上野駅構内「ブラッスリー レカン」)

12月2日(水)

10:00 話題提供者:冷泉 貴実子 財団法人冷泉家時雨亭文庫常務理事・事務局長  
演題「『冷泉家 王朝の和歌盛展』について」

11:00 質疑応答

11:30~12:00 総合討論

13:00~ 『冷泉家 王朝の和歌盛展』(東京都美術館)の見学